

2023年5月20日
第139号
(Web版第33号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 大会実行委員長挨拶
- II 第50回(2023年度)大会 自由報告募集
- III 第50回(2023年度)大会について
- IV 第50回(2023年度)大会の託児サービスについて
- V 第3回講座「犯罪学」の開催について
- VI 各部・委員会報告

※第107号からニュースレターはWebのみで発行しております。
※会員動向につきましては、年間1回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 大会実行委員長挨拶

第 50 回大会の開催にあたって

原田豊（立正大学）

このたび、日本犯罪社会学会第 50 回大会（2023 年 10 月 14 日～15 日）を立正大学品川キャンパスにおいて開催させていただくことになりました。

昨年度の大会は、3 年ぶりに対面での開催となりました。今年度の大会も、本稿執筆時点では対面での実施とさせていただく予定です。また、懇親会につきましても、品川キャンパス内の学生食堂で実施する方向で、鋭意準備を進めております。

大会を開催させていただく立正大学品川キャンパスは、JR 大崎駅と五反田駅からそれぞれ徒歩 5 分（公称：実際は 10 分弱くらいか）と交通アクセスの良好な立地であり、主会場となる 11 号館・13 号館は、品川キャンパスの中でもとりわけ新しい建物ですので、昨年開校 150 周年を迎えた歴史ある本学の「新たな顔」を、皆様にご覧いただけたらと思います。

第 50 回という大きな節目の大会が皆様にとって実り多い集いの場となりますよう、関係者一同全力を尽くす所存です。ぜひ多くの皆様にお越しいただき、昼の部・夜の部ともども、刺激的なディスカッションを交わしていただければと思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

II 第 50 回（2023 年度）大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆さまの自由報告を募集します。

●申込方法：Google フォームにて、以下の項目をお知らせください。

メールアドレス
申込者氏名（所属）
共同研究者氏名（所属）
上記それぞれについて当日報告をするか否か
報告タイトル
プロジェクトの要否：
大会プログラムに掲載する報告概要原稿（150 字以上 200 字以内）
（他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合）その詳細
※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

●申込先 URL：<https://forms.gle/W6YeQeeAL4bMrJHm7>



●申込期限：2023年6月1日（木）必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員：大塚 英理子）

電子メールアドレス：hansha2023kenkyu@gmail.com

●連絡事項：

- *現時点で大会はインパーソンでの開催を予定しています。ただし新型コロナウイルスの状況によっては、一部または全部をオンラインに切り替える可能性があります。キャンセルはできませんので、オンラインに切り替わる可能性があることを理解したうえで、お申込みください。
- *自由報告は1名でもグループでも申し込みます。
- *申込者と報告者は会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いませんが、当日の登壇はできません。
- *1件の申込みにつき1つの報告となります。
- *会員1名につき、申込み及び報告は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。
- *報告時間は質疑応答を含めて1件30分以内（このうち報告時間は20～25分程度）となります。共同研究者がいる場合でも、報告時間は変わりませんのでご注意ください。
- ***申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150字以上200字以内）をご提出ください。**提出された報告概要原稿は、原則として修正できません。
- *大会プログラムに掲載された報告概要の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属します。
- *プロジェクタの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材（PC、USBメモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。
- *申込が受理されると自動的にメールが届きます。メールが届かない場合は、メールアドレスが誤っている可能性がありますので、再度お申込みください。それでも届かない場合は、メールでお問合せください。メールは第50回大会窓口[hansha2023kenkyu@gmail.com]と学会事務局[hansha@daishodai.ac.jp]の両方に送信してください。
- *自由報告実施の日時や会場の指定はできません。ご了承ください。
- *報告タイトルや報告者（連名の場合の順番を含む）の変更は一切できません。
- *大会以前に、他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合には、詳細の申告をお願いします。
- *今大会では、レジュメ等の資料配布は原則としてオンラインで実施します。報告者にはご自身のGoogleアカウントから、資料をアップロードしていただきます。詳細は後日、研究委員会よりメールにてご案内しますので、メールを必ずご確認ください。

●自由報告でお守りいただきたいこと：

- *自由報告会場には、セッション開始の20分前までに必ずお入りください。やむをえず遅刻・欠席する場合は、必ず上記メールアドレス宛にご連絡ください。
- *セッションの時間中に自由報告会場から離れることは、原則としてできません。無断で離れた場合には「報告が成立した」と認めない場合があります。
- *自由報告時にプロジェクタをご使用になられる場合、必ずセッション開始時刻前に、動作確認をお願いします。
- *自由報告者の方には、大会前日（10月13日）までに、メールで大会報告要旨集の原稿をご提出いただきます。詳細は後日、研究委員会よりメールにてご案内いたしますので、メールを必ずご確認ください。

Ⅲ 第50回（2023年度）大会について

第50回大会は2023年10月14日（土）、15日（日）に立正大学（東京都品川区）で開催されます。現在、予定している事項につきまして、以下の通りご報告致します。

1 タイムテーブル

10月14日（土）

- 9:00～ 受付開始
- 9:30～11:30 自由報告
- 11:30～12:30 昼食
- 12:30～14:15 50回大会記念特別講演
- 14:30～17:45 50回大会記念シンポジウム
- 18:00～19:00 総会
- 19:15～20:45 懇親会

10月15日（日）

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～13:00 テーマセッション
- 13:00～14:15 昼食
- 14:15～17:15 テーマセッション
- 17:15～17:25 閉会式

2 企画内容について

現在のところ予定しているシンポジウム、テーマセッションのテーマ・申込者等は次の通りです。

(1) 50回大会記念特別講演

講師：シャッド・マルーナ氏（クイーンズ大学ベルファスト校）

(2) 50回大会記念シンポジウム

テーマ：包摂概念を見直す

司会・コーディネーター：津富 宏（静岡県立大学）

報告者（五十音順）：猪瀬 浩平（明治学院大学）

：上野 正道（上智大学）

：辰巳 一輝（大阪大学）

コメントーター：市川 岳仁（三重ダルク）

：吉間 慎一郎（『更生支援における協働モデルの実現に向けた試論』著者）

(3) テーマセッション

15日（日）10:00～13:00

テーマセッション A

*テーマ：拘禁刑時代における犯罪者処遇論：「指導」の義務づけの理論的・実践的意義を考える

申込者：相澤 育郎（立正大学）

テーマセッション B

*テーマ：批判的犯罪学の展開——理論と経験的研究を問い直す

申込者：岡村 逸郎（東京家政学院大学）

テーマセッション C

*テーマ：少年院がうしなつたもの

申込者：津富 宏（静岡県立大学）

15日（日）14:15～17:15

テーマセッション D

*テーマ：犯罪概念の変容と責任論の展開——犯罪予防及び秩序維持の視点から

申込者：安藤 泰子（青山学院大学）

テーマセッション E

*テーマ：非行少年の被害体験と少年院における矯正教育—非行少年の被害の埋め合わせに向けた課題

申込者：岡田 行雄（熊本大学）

テーマセッション F

*テーマ：社会復帰支援の困難と自助グループの役割～外部交通と身元引受

申込者：風間 勇助（NPO 法人マザーハウス）

テーマセッション X（50回大会記念企画）

*テーマ：日本犯罪社会学会の創成期を語る

コーディネーター：岡邊 健（研究委員長、京都大学）

第36回大会より、それまでのミニシンポジウムとラウンドテーブル・ディスカッションの区分を廃し、統一して「テーマセッション」として開催しております。

3 電子化の推進について

本大会より、印刷版のプログラムは発行しません。プログラムの電子版は、9月中旬ごろ、学会ウェブサイトで開催する予定です。

また、第49回大会での試行をふまえて、本大会では、シンポジウムを含むすべての企画において、配付資料の電子化（オンライン配信）を実施します。参加者ご自身で、研究委員会の定める Google Drive から資料をダウンロードしていただきます（ダウンロードする際、Google アカウントは不要です）。大会当日、Wi-Fi 環境を用意する予定です。詳細は、ニューズレター次号及び学会ウェブサイトでお知らせします。

IV 第50回（2023年度）大会の託児サービスについて

日本犯罪社会学会では、子育て世代の会員の皆様の研究活動のさらなる活性化をはかることを目的として「大会時における託児サービスの導入」について研究委員会を中心に検討を重ねてきました。これをふまえて、第50回大会においても託児サービスを試行的に実施します。今回の託児サービス試行導入の概要は、下記の通りです。

- 委託業者
株式会社ネス・コーポレーション
- 派遣されるシッター
女性 2 名
- 会員の費用負担
なし（学会が全額負担）
- 提供時間
総会・懇親会を除く全日程（10月14日は9時30分～18時、10月15日は10時～17時30分の予定）
- 場所
大会校内の託児に適した部屋（詳細は仮申込をされた方に別途お知らせします）
- 対象年齢
（大会開催日時点で）満1歳～小学校6年生まで
- その他
平熱より体温が高い場合、法定伝染病にかかっている場合、アナフィラキシーショックを過去に発症したことがある場合には、委託業者との契約上、託児サービスの提供ができかねます。あらかじめご了承ください。

第50回大会において託児サービスを利用する意向がある会員（大会における報告の有無は問いません）におかれましては、7月31日までに下記フォームにより「仮申込」をお願いいたします。現時点で未定であっても、託児サービスを利用する可能性が少しでもある場合には「仮申込」をお願いいたします。

- 「日本犯罪社会学会第50回大会における託児サービス」仮申込フォーム URL
<https://forms.gle/t2xETMPQikczEAT58>



なお、このたびの「仮申込」フォームに入力された情報が委託業者に提供されることはありません。今後の「正式申込」の手続き等については、研究委員会より8月末頃にメールで連絡いたします。

「仮申込」が多数となった場合、ご希望に添えない場合があります（年齢の低いお子様を優先させていただく場合があります）。また、第50回大会がオンライン開催に変更になった場合には、託児サービスの試行導入を中止します。これらの場合においても、研究委員会よりメールで連絡いたします。

今回の託児サービスの提供は試行です。2024年以降については、今回の試行をふまえて検討して参ります。

本件に関するお問い合わせについても、上記の仮申込フォームからお願いいたします。

V 第3回講座「犯罪学」の開催について

第3回日本犯罪社会学会主催：講座「犯罪学」を下記の日程で実施予定です。

2023年9月16日（土）、17日（日）、18日（月・祝）（いずれも10:00-16:50）の3日間にわたり、立教大学池袋キャンパスにて対面方式で開催予定です。

タイムスケジュールや定員などの詳細が決まりましたら、ニューズレターおよび学会ウェブサイトなどを通じて告知をする予定です。

犯罪学に興味がある学会員以外の学部生・大学院生・社会人にも、積極的に広報していただければ幸いです。

VI 各部・委員会報告

1 研究委員会

（1）前号ニューズレターにて、第50回大会におけるテーマセッションの企画を公募致しましたところ、6件のご応募をいただきました。来年度大会以降も、企画の公募を実施する予定です。会員の皆様からのご応募をお待ちしております。

（2）第50回大会は、インパーソンでの開催を予定しています。ただし新型コロナウイルスの状況によっては、一部または全部をオンラインに切り替える可能性があります。プログラムの電子版は9月中旬頃に公開する予定です（今年度より紙媒体のプログラムは発行しません）。また、大会に関する今後の情報は、学会ホームページでお知らせ致します。

（3）第50回大会では、シンポジウム、テーマセッション、自由報告において報告者が資料を配る場合には、オンラインで行うことを必須とします（オンラインに加えて紙媒体で資料を配ることは妨げません）。総会の資料はオンラインで配布し、紙媒体では配布しません。

（4）第50回大会では、託児サービスを試行実施します。本ニューズレター「IV」をご覧ください。

2 編集委員会

現在、『犯罪社会学研究』48号発行に向けた準備を進めております。

また、『犯罪社会学研究』49号の自由論文・研究ノートの特稿締切は、2024年3月31日消印有効です。HPおよび犯罪社会学研究に掲載されている特稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、特稿締切に関して、特別な事情のある方は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。

また、特稿は常時受け付けております。会員の皆様のご特稿をお待ちしております。本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの特稿先>

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 八ッ橋ビル 7階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

*特稿にあたっては、特稿時に日本犯罪社会学会の会員である必要があります。特稿者は（共著論文の場合は全員について）、遅くとも特稿締切日までに学会事務局に入会申込書を送達していただかなければなりません（同日必着）。この要件を満たさない場合は、論文を受理いたしません。現在非会員で、今後特稿を予定されている方はご注意ください。

*編集委員会では、自由特稿論文の英文校閲を行っておりません。そのため、自由特稿論文の英文要旨については、特稿時点で筆者の責任においてしかるべき方法で英文校閲をおこなっているこ

とを投稿の要件といたします。なお、査読過程で英文要旨の修正を求めることがありますので、あらかじめご了承ください。

*海外から投稿する場合は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。

*研究ノートでの審査をご希望の場合は、論文の表紙か別紙に明記していただくか、編集委員会に事前にご連絡ください。

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局>

hanshaedit17@gmail.com

3 渉外広報委員会

(1) 若手海外派遣事業

アジア犯罪学会（スリランカ）・ヨーロッパ犯罪学会（フィレンツェ）・アメリカ犯罪学会（フィラデルフィア）で研究報告を行う若手研究者を対象として、渡航費用の一部を補助いたします。補助費用の上限は10万円、募集人数は2名程度、応募締切は2023年5月末日となっております。

詳細については学会ホームページをご参照の上、奮ってご応募ください。

(2) 研究会助成について

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。

年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。

詳しくは学会ホームページをご参照の上、

奮ってご応募ください。

4 企画調整委員会

機関誌第48号への広告の掲載について

当学会機関誌『犯罪社会学研究』第48号への掲載広告を募集します。

広告の掲載を希望される出版社さま、団体さまは、下記問い合わせ先までご連絡ください。

なお、新規のお問い合わせの場合、掲載の可否について審査をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

記

- 1 掲載雑誌 「犯罪社会学研究」 ISSN 0386-460X
第48号 (2023年10月刊行予定)
- 2 広告掲載料 B5版 半頁分 【天地 105mm × 左右 140mm】
(モノクロ印刷) 15,000円
同 一頁分 【天地 215mm × 左右 140mm】
(モノクロ印刷) 20,000円
- 3 問い合わせ・原稿送付先
山梨 光貴 (企画調整委員) d8y.tube.drea3@gmail.com

5 本部事務局会計部

会費納入のお願い

2023年度の会費納入のお願いを発送いたしました。郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。過年度未納分のある方は、古い年度分から充当させていただきます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000 円

院生会員 6,000 円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000 円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

6 本部事務局庶務部

(1) 献本（2023年1月7日～2023年4月20日）

- ・大江将貴『学ぶことを選んだ少年たち 非行からの離脱へたどる道のり』晃洋書房
- ・龍谷大学矯正・保護研究センター『龍谷大学矯正・保護総合センター研究年報』第12号
- ・科学警察研究所『科学警察研究所報告』第71巻第1・2号
- ・法務総合研究所『令和4年版犯罪白書—新型コロナウイルス感染症と刑事政策— 一犯罪者・非行少年の生活意識と価値観—』
- ・龍谷大学矯正・保護課程委員会編『矯正講座』第42号 以上5冊

(2) 会員数(2023年1月7日現在)

一般会員 412 名、海外会員 1 名、名誉会員 12 名、終身会員 2 名、特別会員 2 団体、合計 429 名

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間1回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00 - 6:00)

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。
